



優勝候補に勝利しても 出られなかった甲子園

正直、私は本を読まないんですよ。子どもの頃は野球漬けの生活。本格的に野球を始めたのは中学校からなのですが、高校も野球部に入りました。

進学先は県大会の優勝候補に名前が挙がるような高校で、ほとん

どの部員がスカウトで入学した中、私は一般からの入部でした。それでもレギュラーとなることができ、高校最後の年はサードとして春の県大会ではベスト4。当然、次の夏の大会は甲子園出場を目指して挑んだんです。

私は広島出身なのですが、3回戦で当たったのが優勝候補の最右翼だった広陵高校。勝利すること

ができ、当時、残る強敵は広島商業ぐらい。もう甲子園に行くしかない。そう思っていたところ、次の試合で普通の公立高校に負けてしまったんです。悔しくて……。

その頃、進学するかも決めていなかったのですが、悔しさを完全燃焼しようと監督に相談。大学でも野球を続けることにしました。大学では1年のとき、サードの3

「会社は社員のために、 社員は会社のために」 社員一人ひとりが個人的に 成長できる場をつくる

ナイガイ株式会社
代表取締役社長
浅井康雄氏

(あさいやすお)

1965年広島県生まれ。89年広島電機大学卒業後、ナイガイに入社し大阪支店に配属される。2016年東京本店長に就任。21年常務取締役を経て、22年代表取締役社長に就任。

年生の先輩が遅刻したことがチャンスとなり、レギュラーを運よくつかみ取ることができました。とはいえ、大学の上は社会人に行くかプロしかない。高校時代にプロのスカウトに守備を褒められたことはあったのですが、さすがに一流選手たちとのレベルの違いは分かる。そこで普通に就職しようと、当社に入社しました。

出版社からの話で 会社の歴史を書籍化する

そんな生活を送ってきたので、ずっと読書をしてこなかった。入社後も技術畑を歩んできたため、経理や総務など、会社の内勤の仕事もあまり理解していませんでした。そうした場合、本を読んで勉強される社長さん方が多いのではないが、私はユーチューブの動画を観て勉強することを選びました。いろいろな図なども用いて説明されるから分かりやすい。本当に本とは無縁なんですね(笑)。

もっとも、そんな私でも最近、

浅井社長が楽しみに待つ 「100年企業」ナイガイの歴史

『業界を支える「100年企業」の秘密』(仮)

発行：日刊現代 発売：講談社

1923年、当初は内外アスベスト工業所として設立されたナイガイ。断熱工事と断熱材の製造の二本柱でスタートした同社が、国内トップシェアの保温・保冷工事会社まで成長した歴史を辿る。今冬発売予定。

本と縁ができました。出版社から相談があり、今ちょうど制作している最中なんです。ナイガイは保温・保冷工事の専門領域に特化した企業で、これらに関する複数工事を一貫して行えることから高い評価をいただいておりますが、そんな当社の創業は1923年。その100年以上にわたる当社の歴史を書籍化する、とのお話です。これまで本と関わりはありませんでしたが、せっかくの機会なのでお受けすることにしました。どうやって本がつくられていくのか。半分は私の好奇心(笑)。当社がどのように描かれるのか、楽しみに待っているところです。

提案制度を復活させ 社員の想いを知る

ところで、私は2022年に社長に就任したのですが、その前に前任の社長から「ナンバー2として会社を支えてほしい」と言われていたんですね。だから、社長になるとは思っていませんでした。ところが、就任まで1年ないぐら

いの時期に突然指名をされて……。そんなわけですから、就任してしばらくは戸惑う日々でした。そして少し落ち着いたときに手を付けたのが、就業規則の見直しです。当社のスローガンは「会社は社員のために、社員は会社のために」。長い歴史があるため、就業規則も継ぎ足しで改正されており、もはや何が正しいのか分からない状況にあった。私自身、社長になって一番大切にしているのは社員。彼らの頑張りがあってこそ、会社の業績につながっている。だから、一から整備し直しました。

その中で見つけたのが提案制度。元は1964年につくられたもので、これを復活させました。内容は社員の提案を受け付けるというシンプルな制度ですが、反響は大きかった。毎月20日に締めて、すべてを取締役会に上げるのですが、当初は取締役会の所定の時間をオーバーするほどの提案がありました。当然、私たち役員もいろいろと考えていますが、目線はやはり社員と違うところもある。本当に

社員が望んでいること、どういう目線で物事を見ているのかを知るいいきっかけになっています。もっとも、最初は苦情窓口かと思うぐらい、いろいろなことが来たので、今は提出のハードルを少し上げました(笑)。

私は、ナイガイを社員一人ひとりの個人的な成長につながる場にしていきたいと考えています。そうすれば会社は放っておいても成長するはず。逆に言えば、そうできないならば成長しない。当社の良さの一つはアットホームな雰囲気だと思っておりますが、そこを守りつつ、成長できる場にもしていく。それが私の役割です。【談】



ナイガイは2023年10月25日に100周年を迎えた。
写真は式典でスピーチする浅井社長